

学習指導要領		都立若葉総合高校 学カスタンダード
<p>(1) 世界史へのいざない</p>	<p>ア 自然環境と歴史</p> <p>歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p>	<p>(大河流域の生活と歴史]</p> <p>大河流域の古代文明について知る</p> <p>(海洋の生活と歴史)</p> <p>海洋の特徴とその生活とのかかわりを知る</p> <p>(草原の生活と歴史)</p> <p>内陸アジア北部広がる大草原とのかかわりを知る</p> <p>(オアシスの生活と歴史)</p> <p>オアシスの特色と生活とのかかわりを知る</p> <p>(森林の生活と歴史)</p> <p>様々な森林と生活とのかかわりを知る</p> <p>(日本と世界との交流)</p> <p>日本列島を訪れたり、海外へ渡った人々を通じその交流の歴史を知る。</p>
	<p>イ 日本列島の中の世界の歴史</p> <p>日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<p>(外来の道具や技術の伝来)</p> <p>外来の道具や技術について身近な地域に残されている遺跡・遺物などについて知る、</p> <p>(日本の文化や生活)</p> <p>日本列島に残る伝説・行事等について知る。</p> <p>(日本に外来の宗教)</p> <p>仏教やキリスト教など外来の宗教を通して日本と世界のつながりを知る。</p>
	<p>ア ユーラシアの諸文明</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<p>(東アジアの文明)</p> <p>漢字・儒教、中国を中心とした国際体制などを通じて東アジアの文明の特性を知る</p> <p>(南アジアの文明)</p> <p>仏教・ヒンドゥー教、カースト制等を通して南アジアの文明の特性を知る。</p>

学習指導要領	都立若葉総合高校 学カスタンダード
<p>(2) 世界の一体化と日本</p> <p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアメリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	<p>(西アジアの文明) 古代オリエント文化、イスラーム等を通して西アジアの文明の特性を知る。</p> <p>(ヨーロッパの文明) 古代ギリシア・ローマの文化、キリスト教等を通して文明の特性を知る</p> <p>(世界の一体化とヨーロッパ) ヨーロッパのルネサンス・宗教改革・大航海時代党が世界に及ぼした影響について知る</p> <p>(アジアの諸帝国) 16世紀から18世紀までのアジアの諸地域の支配と経済の繁栄について知る</p> <p>(ヨーロッパの主権国家) ヨーロッパの主権国家体制の特性について知る。 (大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容) ・大西洋三角貿易の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容について知る。</p> <p>(産業革命と資本主義の確立) 産業革命と資本主義の確立について知る 資本家と労働者が形成され、社会生活の在り方の変化を知る [アメリカの独立] ・アメリカ合衆国の独立について知る [アメリカ合衆国の発展] ・アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧、南北戦争後の急速な工業化について知る。 [フランス革命とナポレオン] ・アンシャンレジームの社会とフランス革命、その進展と終焉、その後のナポレオンの台頭について知る。</p>

学習指導要領	都立若葉総合高校 学カスタンダード
<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本</p> <p>ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <p>ア 急変する人類社会</p> <p>科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和</p> <p>帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p>	<p>[自由主義・国民主義の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由主義と国民主義の進展について知る。 19世紀のイタリア・ドイツの統一について知る。 <p>(アジア諸国の変貌)</p> <p>18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の状況とヨーロッパ世界の進出による変化について知りアジア諸帝国の動向とアジアの人々の主体的な動きを知る。</p> <p>[日本の開国と近代化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 19世紀の世界の一体化と日本の開国・明治維新について知る。 <p>[第二次産業革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達や、企業の巨大化、国家の役割の増大、公教育の普及について知る。 <p>[大衆社会の出現]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大量生産・大量消費社会の登場により、社会が大衆化したことを知る。 <p>[帝国主義]</p> <ul style="list-style-type: none"> 帝国主義諸国の抗争と日本を含むアジア・アフリカの対応について知る。 <p>[第一次世界大戦とロシア革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦が始まった原因と性格について知る。 大戦中にロシアで社会主義革命が起こったことを知る。 <p>[第一次世界大戦後の国際秩序]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念について知る。 アジア諸地域の民族運動が高揚したことを知る。

学習指導要領	都立若葉総合高校 学カスタンダード
<p>ウ 三つの世界と日本の動向</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題</p> <p>1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>(3) 地球社会と日本</p> <p>オ 持続可能な社会への展望</p> <p>現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>世界恐慌とファシズムの台頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌とその対応が、ファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを知る。 東アジアにおける日本の動向について知る。 <p>[第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦について、戦争の被害の甚大さや戦争の複合的な性格について知る。 <p>(冷戦の始まり)</p> <p>米ソによる冷戦の構図について知る</p> <p>(第三世界の台頭)</p> <p>アジア・アフリカ世界の植民地支配からの解放と第三世界の形成について知る</p> <p>(1960年代の世界)</p> <p>米ソの指導力の低下と多極化について知る</p> <p>(市場経済のグローバル化)</p> <p>ドル危機や石油危機等 1970年代の経済構造転換について知る</p> <p>(冷戦の終結と社会主義体制の崩壊)</p> <p>冷戦の終結と社会主義体制の崩壊について知る</p> <p>(地域統合の動き)</p> <p>EU等の地域統合の進展について知る</p> <p>(地域紛争の頻発)</p> <p>世界各地で頻発している地域紛争の原因を知る</p> <p>持続可能な社会のために環境の保全、経済の開発、社会の発展のそれぞれの調和の必要性を理解し、歴史的視野から諸問題に関する理解を深め、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現を展望する</p>